



# 懐かしのテレビ番組より

先日、私が新米教師だった頃に放送されていた、「学校へ行こう」という番組の特番が放送されていました。番組を仕切っていたのは、ジャニーズのV6で、二十年前の長野五輪で「WA」になったおどろろーにのって活躍する、数多くの日本人選手や、目の前で見た日本ジャンプ選手、その中でも、いまなお活躍をしている西紀之選手のことを懐かしく思いました。

加えて、二十年経っても変わることはない、生徒たちが発信する「未成年の主張」から得られる感動には、驚かされました。新世代「脱ゆとり世代」と言われてはいますが、いつの時代も生徒たちの心を揺さぶるものは、不易なものなのだ、改めて気付かされました。

放送を実際に観ていた人もいると思いますが、特にその中から、紹介したいと思う事柄を挙げさせてもらいます。

## 『たかがバラエティと思うなかれ』

要は、対象が何であれ感じ取る心は、各々の中にあるということですね。

## 養老孟司

「好きなことを続けるためには、いろいろなことを学ばなければいけないよ。」

この言葉をかけてもらったのは、大事を達成するには、基礎の積み重ねが必要で、そのために、減り続けている日本の基礎研究費用について堂々と主張した、中学生です。この中学生にも大きな拍手を送りたいですね。

## レディ・ガガ

「すでに行動をしているあなたは、弱くなんかなく強い人です。」

もちろん、レディ・ガガの力はあるでしょうが、会いに行つた高校生の中に、レディ・ガガに想いを伝えたいという強い気持ちがある、地元の新聞や、ガガ本人に何かを響かせたいという奇跡を起こしたのかもしれない。それが伝わり、スターからこんな言葉をかけてもらえたのでしょね。

## 清泉女学院中学校高等学校での一日限定コギャル変身ショー

「校則を破ってみたい」

勘違いしてもらっては困りますが、普段厳しさも徹底している学校に所属している生徒たちが、普段と違うことを認められたからこそ、思い切つてはじけることで、違う景色から、普段の自分たちの強みに気付くことができる、ということなんです。

## 多良木高等学校

「こちらこそ感謝感激です」

開校九十六年目の閉校を前に、多くの在校生から地域の方々に述べられる感謝の言葉に対して、母校の先輩方が後輩たちに贈つた言葉です。まさに、地域に根差した学校であつたんですね。

# 第5回挨拶運動 9月14日(金)

雨中での挨拶運動ですが、相生駅南側を中心に、四組の生徒が行いました。強い雨の中だったので、バスを待つ一般の方や他の生徒の様子、送迎する家用車の流れから、「相生市への提言」のヒントになるようなものを、見つけてほしいと思いつつ、約三十分の活動を終えました。



お声を掛けるタイミングや、少し立ち止まる距離感など、挨拶以外の一言など、またこの機会に、成長したい一年間の挨拶運動の中で、学

## 体育大会 一年生の主な結果

応援旗	最優秀賞	4組
大縄跳	1年の部第1位	1組
来年は全体の部1位を目指そう！		
障害物リレー	1年の部第1位	1組
女子100m	第1位	梶原 彩美
女子200m	第1位	濱本 月
男子200m	第1位	竹迫 蒼真

# 体育大会フラオトライブラリ



綱引き優勝 5組団

POWER OF AIOI



学年演技での躍動感・一体感

